

<p>1. 主催者・共催者名 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)</p>
<p>2. タイトル 温室効果ガス削減技術の開発と展開～ NEDO国際事業での実践に学ぶ</p>
<p>3. 目的・概要</p> <p>急速な経済成長を経験し続けている発展途上国・新興国にとって、グリーン成長による低炭素社会の実現は重要となってきた。この目標達成のためには、省エネルギーや再生可能エネルギーのための技術開発・展開が重要である。1.</p> <p>新エネルギー・産業技術総合開発(NEDO)は、海外での様々な調査や実証事業を実施することで、日本の環境調和型技術の海外への紹介に貢献してきたところ。これらの事業は、温室効果ガスの削減だけでなく、グリーン成長支援にも貢献している。</p> <p>本イベントでは、NEDOの国際事業の成果と、我が国が推進している二国間オフセット・クレジット制度(JCM)を含む今後の進め方を共有する。</p>
<p>4. アジェンダ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 NEDO理事 植田 文雄 ・NEDOの国際実証事業からの経験 NEDO 京都メカニズム事業推進部長 笠井 俊彦 ・招待講演～攻めの地球温暖化対策外交戦略(ACE)について 経済産業省産業技術環境局地球環境連携技術室長 八山幸司 ・パネルディスカッション/Q&A パネリスト 八山幸司 笠井俊彦 <p>司会進行 NEDO 京都メカニズム事業推進部 主幹 小林正典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総括・閉会
<p>5. 発表・議事の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEDO植田理事から、発展途上国・新興国において低炭素社会の実現の鍵となる我が国の環境調和型技術の開発と展開の重要性と本イベントの趣旨を説明。 <p>NEDO 笠井部長は、NEDOの技術開発や海外事業の紹介とともに、海外事業の基本的な進め方(調査→実証→フォローアップ)や相手国政府とのMOUによるプロジェクトマネジメントの枠組みの構築の重要性、現在日本政府が推進しているJCMの特徴と、それに対する期待を発表。経済省八山室長は、我が国が今次COPのタイミングで世界に発表した「攻めの地球温暖化対策外交戦略(ACE)」を紹介するとともに、現在8ヶ国ではじまったJCMにおいて、NEDO実証事業の次は、大規模な本格化プロジェクトの実施へと進展させたいので、そのためのファイナンス支援等を充実させていき、JCMパートナー国を3年で倍増するとの方針を示した。</p>

パネルディスカッションでは、実証事業で NEDO が締結する MOU 等の基本的な内容や予算の仕組み、ACE 事業の内容、対象国の話、実証事業における技術面だけでなく、ビジネス面での検討の重要性について等活発に行われた。

閉会では、今回のセッションを通じて、我が国の優れた温室効果ガス削減技術とその普及について、JCM も含めて積極的に行っていく姿勢をおわかりいただけたと思うので、参加してくれた各国と NEDO のさまざまなツールを活用しながら協力していきたい、と総括した。

6. 会場写真



開会挨拶（NEDO 植田理事）



パネルディスカッション